



第44号  
 編集発行所  
 〒990-2492  
 山形市鉄砲町一丁目15-64  
 山形県立山形西高等学校  
 嚶鳴同窓会  
 電話 023-641-3504



120年目の嚶鳴  
 会長 鈴木 よし子 (昭和43年卒)

会長をお引受けして丸3年、「インターハイなら3位以上」という厳しい条件を早速クリアしてくれました。受験校の生徒がスポーツ競技で全国レベルの活躍をするのはなかなか難しいこと、学校中大喜びでした。ささやかな表彰ではありますが、選手の方々の記念となれば幸いです。また運動部、文化部を問わず、次々と受賞者が出てくれることを願っております。

昨年夏、地元で開催された南東北インターハイで登山部が見事3位に入賞。一昨年新設の同窓会特別活動賞、その

徒動員時に爆撃により尊い命を失ったこと、火災により校舎を失ったことなど大変な苦難がありました。いつも先生方と生徒が一体となり、真摯にひたむきに努力する、それが嚶鳴120年の歴史が育んだ大切な事実のようなものと思えます。この嚶鳴精神と嚶鳴の歴史を、今年はいじくりと見つめ直してみたいものです。

今年本校創立120周年の節目の年。同窓会では記念誌の発行を中心に、記念事業を支援しております。10月25日の記念式典が待たれます。明治31年に山形市立高等女

史を振り返れば、戦争中の学



創立120周年の節目に  
 校長 津田 浩

今春の人事異動で、校長に着任いたしました津田浩と申します。嚶鳴同窓会の皆様には、日頃より多大なる御支援と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

本校では、親睦友愛と切磋琢磨の心からなる嚶鳴精神を基本にしながら、「思いやりと志を持って山形が大好きな西高生を育てる」というテーマを掲げ、知・徳・体の調和のとれた人材の育成に力を注いでおります。

昨年、本県を中心に行われた南東北インターハイにおいては、登山部が3位入賞というすばらしい成績をあげてくれました。

今年の三重県を中心に開催されるインターハイにも、登山部となぎなた部の出場が決定しており、昨年以上の活躍を期待しています。

また、文芸部、弁論部、放送部、新聞部が長野県で開催される全国高校総合文化祭に出場します。

一方、昨年度の進学実績を見ますと、国立大学については、東北大学などの難関大学をはじめ、北は北海道から南は九州に至るまで、全国各地の大学に116名が合格しておりますが、残念ながらこの数字は、一昨年度に比べ、大きく減っております。生徒・保護者の希望を叶え、大学入

試でしっかりとした実績を残すというのは西高に課せられた使命だと考えておりますので、入試結果の分析と反省をもとに、様々な取り組みを始めていくところです。

今年、本校は創立120周年という節目の年を迎えました。この節目を、三巡目の還暦に向けた新たなスタートの年ととらえ、教職員生徒一丸となって嚶鳴の伝統の継承と更なる発展に取り組んで参ります。

今後とも嚶鳴同窓会の皆様の御支援、御協力を、よろしくお願い申し上げます。



平成30年度 総会のお知らせ

- とき 10月28日(日) 午前10時30分 開会
- ところ パレスグランデール (山形市荒瀬町一丁目17-40)
- 会費 6,000円
- アトラクション Na Mamo O Kulia I Ka U'i 中川ミチコ フラ教室
- チケット購入のお問い合わせ先 TEL 070-1141-0447 (同窓会総会当番学年/齋藤)



総合開会式リハーサルにて

「山形の魅力」を全国に発信するために、母なる川として県民に広く親しまれている「最上川」をモチーフに、私たちは「最上川」より育まれた幾多の生命の誕生を表現しました。半年以上前から練習を積み重ね、私たちが一番伝えたい思いは何かを考えてきました。その思いを一滴のし

## 在校生の活動

〈新体操部・美術部〉

私たちが新体操部は、昨年度山形県で開催された南東北総体総合開会式の公開演技に参加しました。

「山形の魅力」を全国に発信するために、母なる川として県民に広く親しまれている「最上川」をモチーフに、私たちは「最上川」より育まれた幾多の生命の誕生を表現しました。半年以上前から練習を積み重ね、私たちが一番伝えたい思いは何かを考えてきました。その思いを一滴のし

ずくに乘せて、私たちらしいものを創り上げていくことができたと思います。本番は、多くの観客に囲まれ、緊張しながらも、気持ちよく踊り切ることができました。

今回、総合開会式に参加するにあたり、多くの方々にご指導いただき、音楽への理解や個々の表現力が深まりました。そして何より、踊ることの楽しさを再確認できた貴重な経験となりました。この経験を無駄にせず、西高新体操部の今後ますますのレベルアップに繋げていきたいです。

(新体操部部长 3年 柴田美衣南)

「特別賞・やなせたかし賞」受賞

また、平成28年度より新たに制定された嚶鳴同窓会特別活動賞は、平成29年度南東北インターハイで第3位に入賞した登山部の4名に贈られました。

また、平成28年度より新たに制定された嚶鳴同窓会特別活動賞は、平成29年度南東北インターハイで第3位に入賞した登山部の4名に贈られました。

- 平成29年度**  
〈インターハイ(南東北)〉
- 登山部 団体女子第3位
  - 神めぐみ、高橋 夏生、一柳 朱里、高橋 眞子
  - なぎなた部 団体試合 予選リーグ1勝1敗
  - 演技競技 予選リーグ
  - 佐藤 安希・小山 和葉 1勝1敗
  - 個人試合 予選リーグ
  - 佐藤 安希 1勝1敗
  - バドミントン部 個人 シングルス
  - 花輪 祥子 (2回戦敗退)
- 〈全国高等学校総合文化祭(宮城県)〉
- 放送部 朗読部門 村田 詩帆
  - 弁論 丹野亜久里
  - 将棋部 叶内 里帆
- 〈第26回全国高等学校選手権大会まんが甲子園2017〉
- 美術部 「特別賞・やなせたかし賞」受賞
- 〈第12回全国高校生英語ディベート大会in埼玉〉
- 英語部 横尾 桃華、遠田野乃夏、多田 朱花、逸見英理子、菊地 稀衣、渡邊 芽依
- 平成30年度**  
〈県高校総体体育大会〉
- 卓球部 個人ダブルス 大石 桜華・加藤 咲希 ベスト16
  - 個人シングルス 大石 桜華 ベスト16
  - ソフトテニス部 団体 ベスト16
  - 個人 石澤 優紀・黒木 星名 ベスト8 (東北大会出場)
  - 柴崎 愛実・鈴木 楓 ベスト16
  - 陸上競技部 女子フィールド第6位 山形西
  - 女子ハンマー投 第1位 岡崎 美里 (東北大会出場)
  - 女子砲丸投 第3位 岡崎美里 (東北大会出場)
  - 女子ハンマー投 第4位 中根 里紗 (東北大会出場)
  - 女子5000mW 第5位 齋藤瀬里依
  - 女子5000mW 第7位 吉井 愛莉
  - 登山部 団体女子最優秀
  - 真野あずさ、鈴木紀恵子、青山 美凜、今野 歩 (インターハイ・東北大会出場)
  - バドミントン部 団体ベスト8
  - 新体操部 団体第3位
  - なぎなた部 団体 第2位(東北大会出場)
- 平成29年度**  
〈東北高等学校登山大会〉
- 第4位 真野あずさ、鈴木紀恵子、青山 美凜、今野 歩
- 〈東北高等学校ソフトテニス大会〉
- ベスト16 個人 石澤 優紀・黒木 星名

が、決勝大会へ出場し、そして「特別賞やなせたかし賞」をいただくことができました。仲間と共に受賞した時の喜びや驚き、嬉しさは今でも忘れることはできません。高知で過ごした4日間は高校生活の中でも鮮やかに残る思い出です。全国大会出場に際して様々な面から支援していただいた全体的に、感謝いたします。

(美術部部长 3年 東海林帆佳)

が、決勝大会へ出場し、そして「特別賞やなせたかし賞」をいただくことができました。仲間と共に受賞した時の喜びや驚き、嬉しさは今でも忘れることはできません。高知で過ごした4日間は高校生活の中でも鮮やかに残る思い出です。全国大会出場に際して様々な面から支援していただいた全体的に、感謝いたします。



制作活動中の一場面

- 個人 第1位 荒木 愛佳 (インターハイ・東北大会出場)
- 演技 第2位 阿部 遥・荒木 愛佳 (インターハイ・東北大会出場)
- 演技 第3位 貝和 千央・小川 孔華 (東北大会出場)
- 演技 第3位 小松明日香・村山 花音 (東北大会出場)
- テニス部 団体ベスト8
  - サッカー部 準優勝
  - 水泳部 総合第8位
  - 400mメドレーリレー 第5位 (門脇・大内・渡辺・川部) (東北大会出場)
  - 400mフリーリレー 第8位 (大内・門脇・川部・渡辺) (東北大会出場)
  - 200m個人メドレー 第6位 大内 希美 (東北大会出場)
  - 200mバタフライ 第4位 渡辺 紗夜 (東北大会出場)
  - 100mバタフライ 第7位 渡辺 紗夜 (東北大会出場)
  - 100m平泳ぎ 第3位 大内 希美 (東北大会出場)

## 嚶鳴精神をつなぐ喜び

平成29年度嚶鳴同窓会総会



恩師代表 山川博史先生のご挨拶

平成29年10月29日(日)パレスグラデールに於いて、嚶鳴同窓会総会が開催されました。総勢460名の皆様にご出席いただきました。

総会に先立ち、嚶鳴女声合唱団による山形県民の歌「最上川」と校歌が披露され、鈴木よし子会長、三澤裕之校長のご挨拶で総会が始まりました。議事は奥山潤子副会長の進行の下、滞りなく進められました。引き続き行われた祝賀式典では、お忙しい中ご出席いただいた吉村美栄子山形県知事より県政についてお話をいただき、学年恩師からは、代表で山川博史先生より西高の思い出をお話しいただきました。当時と変わらないお姿に、日

中村郁様より、楽しいエピソードを交えて学校生活の思い出を語っていただきました。元校長黒田聖司様の乾杯のご発声で祝宴が始まり、楽しい歓談の中でアトラクションが行われ、昭和54年卒業の二戸敦子さんによるソプラノ独唱が披露されました。「乾杯の歌」を歌いながらの登場など、祝宴を盛り上げる趣向を凝らしたステージとなりました。ソプラノの透き通るような歌声が響き、会場全体が華やかな世界に引き込まれました。祝賀式典の最後は、再び嚶鳴女声合唱団の美しい歌声を聴かせていただき、全員で校歌を歌い閉会となりました。昭和54、55年卒が協力し合い、当学年の役割を果たすことができました。友と再会し準備を進める中で、嚶鳴精神の素晴らしさを引き継ぎ喜びを新たにしました。ご参加いただきました皆様、心より感謝と御礼を申し上げます。

(昭和54年卒 齊藤 明美)

この度祝賀を受けられた方々は、米寿24名、喜寿71名の皆様でした。米寿の皆様は、激動の中で女学校時代を過ごされました。米寿代表の阿部とし様からは、厳しい時代であっても、友とともに学んだ女学校は楽しい思い出にあふれていることとお話しいただきました。

喜寿の皆様には、恩師である諏訪秀隆様が来賓として遠方よりお越しいただきました。懐かしさに会話ははずみ、再会の喜びを味わうひと時となりました。また、喜寿代表の

平成30年度嚶鳴同窓会東京支部総会が6月10日(日)ホテルオークラ東京にて開催され、274名の皆様にご出席いただきました。

今年度は母校西高が創立120周年。そして東京支部は4期8年の長きに亘り支部長を務められた笠井ひで子さんから新支部長鹿野由貴さんへ新たなバトンが渡される節目の年となりました。そこで懇親会では節目の年を祝して天獅子さんによる演舞「獅子舞」、テツアンドトモさんによるお

祝いのビデオメッセージを皆様に楽しんでいただきました。また、恩師として3月まで西高の校長を務められた三澤裕之先生をお招きしました。先生には準備学年の日本史をご担当いただき、担任としてもご指導いただきました。イケメンでユーモア溢れる先生は、当時も今も変わらぬ人気で、先生のもとには幅広い学年の方達が集まりました。

準備学年一同、皆様と笑顔でお会いできましたことを嬉しく思うとともに、このような機会をいただけました事を改めて感謝申し上げます。

(平成3年卒 堀 綾子)

展示中取り扱うのは一冊の本だけだそうです。作家と読者がより近い距離感でいてほしい、そのような空間を提供したいとの思いからこの書店を始められ、本も売れているそうです。機会があったらぜひ訪れてみたい書店です。劉含発さんの二胡ではその独特な美しい響きで「荒城の月」「川の流れるように」等を演奏していただきました。最後に「ふるさと」を全員で合唱し、次回の再会を楽しみに、和やかに



嚶鳴同窓会 寒河江支部 第10回総会 平成29年 7月 9日

平成30年度嚶鳴同窓会東京支部総会が6月10日(日)ホテルオークラ東京にて開催され、274名の皆様にご出席いただきました。

今年度は母校西高が創立120周年。そして東京支部は4期8年の長きに亘り支部長を務められた笠井ひで子さんから新支部長鹿野由貴さんへ新たなバトンが渡される節目の年となりました。そこで懇親会では節目の年を祝して天獅子さんによる演舞「獅子舞」、テツアンドトモさんによるお

祝いのビデオメッセージを皆様に楽しんでいただきました。また、恩師として3月まで西高の校長を務められた三澤裕之先生をお招きしました。先生には準備学年の日本史をご担当いただき、担任としてもご指導いただきました。イケメンでユーモア溢れる先生は、当時も今も変わらぬ人気で、先生のもとには幅広い学年の方達が集まりました。

準備学年一同、皆様と笑顔でお会いできましたことを嬉しく思うとともに、このような機会をいただけました事を改めて感謝申し上げます。

(平成3年卒 堀 綾子)

祝いのビデオメッセージを皆様に楽しんでいただきました。また、恩師として3月まで西高の校長を務められた三澤裕之先生をお招きしました。先生には準備学年の日本史をご担当いただき、担任としてもご指導いただきました。イケメンでユーモア溢れる先生は、当時も今も変わらぬ人気で、先生のもとには幅広い学年の方達が集まりました。

準備学年一同、皆様と笑顔でお会いできましたことを嬉しく思うとともに、このような機会をいただけました事を改めて感謝申し上げます。

(平成3年卒 堀 綾子)

祝いのビデオメッセージを皆様に楽しんでいただきました。また、恩師として3月まで西高の校長を務められた三澤裕之先生をお招きしました。先生には準備学年の日本史をご担当いただき、担任としてもご指導いただきました。イケメンでユーモア溢れる先生は、当時も今も変わらぬ人気で、先生のもとには幅広い学年の方達が集まりました。

準備学年一同、皆様と笑顔でお会いできましたことを嬉しく思うとともに、このような機会をいただけました事を改めて感謝申し上げます。

(平成3年卒 堀 綾子)

祝いのビデオメッセージを皆様に楽しんでいただきました。また、恩師として3月まで西高の校長を務められた三澤裕之先生をお招きしました。先生には準備学年の日本史をご担当いただき、担任としてもご指導いただきました。イケメンでユーモア溢れる先生は、当時も今も変わらぬ人気で、先生のもとには幅広い学年の方達が集まりました。

準備学年一同、皆様と笑顔でお会いできましたことを嬉しく思うとともに、このような機会をいただけました事を改めて感謝申し上げます。

(平成3年卒 堀 綾子)



準備学年(平成3年卒)のみなさんと恩師の先生

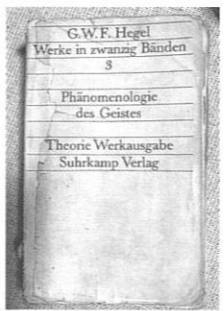


今年の6月は上旬から夏を迎えたかのような暑い日が連日続いていましたが、阿部先生のご自宅に伺った日は、爽やかな風が吹き抜ける清々しい日でした。お住まいは市街地にあるにも関わらず、お庭の花桃の木陰には様々な植物が風にそよび、緑が輝いておりました。西高教諭時代と変わらぬお声で出迎えてくださったお姿に、懐かしい気持ちとともに、今日はどんな学びがあるのだろうと、自然と気持ちが高まりました。

### 恩師を訪ねて

#### 第三の誕生

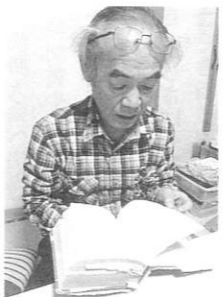
阿部 敏晴 先生  
(平成5年4月、平成17年3月在職)



ヘーゲルの『精神現象学』

西高の講師を昨年8月で終えられ、現在は「時間はたっぷりある」とのお話でしたが、自治会副会長、民生児童委員として、

「現場に立ち続けているとインプットが必要だとも感じた」の中で、在職中には山形大学人文学部の大学院で哲学を学ばれていたそうです。そこで最新の研究を学び、それを基に自らまとめ、授業に落とし込んでいったとのことでした。



哲学書を手にお話くださる阿部先生

先生と哲学の出会い、高校時代に恩師から勧められた哲学者イマニエル・カントでした。ドイツ観念論哲学の祖といわれるカントに惹かれ哲学に興味を抱き、大学進学後、哲学を専攻されました。その後、西高在職

中に通われた大学院で、先生が研究されていたのが、ドイツ観念論を代表する哲学者であるG・W・F・ヘーゲルの『精神現象学』でした。訪問時、私たちにその本を見せてくださった先生は「ちょっとこれは休止して、今はハイデガー（20世紀の代表的哲学者）」と、哲学への興味は尽きない様子。

ずつと哲学と共に歩んでこられた阿部先生ですが、なんと教員の道を選ばれた理由も「ずつとなんらかの形で哲学を扱っていきけるかな」という哲学への想いから。「倫理学も哲学も、魅力的で蟻地獄のようなところがある」と、哲学の奥深さについて豪快に笑いながらお話し下さいました。



花桃の木陰にて奥様と

訪問後、嚶鳴同窓生でもある奥様の慶子さんと一緒に見送ってくださいました。お庭のドクダミはお茶にするためにそろそろ摘むところだそうです。奥様お手製のドクダミ茶が、阿部先生の「知の探求」のパワーの源なのかもしれません。

「現代を取り巻く困難な時代だからこそ、社会の仕組みがどうなっているのかについて関心を持ち、あまり絶望せず無関心に陥らず、己の希望を懐きながらゆつくりじっくりと、自分たちでできることは何があるのか考えてもらいたい」とした上で「私も関心を持って選挙だけは行きたいな」と笑顔でお話下さいました。

代の頃以上に年々強く考える日々でしたので、恩師であり人生の大先輩であるそのお姿に、大きな学びを得た思いでした。最後に、現役西高生と大人になった教え子たちへのメッセージをいただきました。

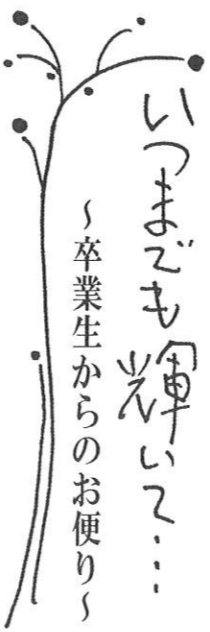
### 並木道

平成4年卒 鈴木千尋  
数年前に長女が母校西高に入学しました。その時は、初めて高校生を持つ保護者となった緊張感よりも、懐かしい学び舎に戻って来た安心感の方が上回っていたように記憶しています。そこで娘が入部したのは、なぎなた部でした。顧問の先生には、私が在学中に漢文を教えていただったので、安心してお任せすることができました。

さて、その年なぎなた部に入部したのは5人。中学校からの経験者は1人。他の4人は中学校時代、陸上部、柔道部、吹奏楽部、新体操部と様々で、出身中学校も5人バラバラでした。それでもすぐに仲良くなり、部活が休みでも5人でカラオケに行ったり、プリクラを撮りに行ったりと楽しい時間も、きつい練習も3年間共に過ごし、卒業した今でも仲良くしています。

その娘達に負けず劣らず、今でも仲が良いのが私達母5人です。娘の送迎、大会応援、毎日の練習の洗濯、部活と勉強の両立に悩む娘達を見守りながら、同じ時間を過ごし卒業を迎えました。応援Tシャツに身を包み、負けては悔し涙を流し、勝ってはうれし涙を流しながら抱き合っ喜びました。冬の弘前市での思いがけない勝利。感動の余韻にひたりながらも、せつかく来たのだからとタクシーに乗り合わせて弘前城も見学しました。それから半年後、「こんな機会でもないと行けないよね」とインターハイ応援のために山口県へ。関門海峡を眺めながら、おいしいふぐもいただきました。

母校は、いつの時代も素敵な思い出と出会いをくれます。娘のおかげでもう一度入学しような3年間でした。この出会いに感謝し、これからも大切にしていきたいと思っています。



### 高校時代の友情に包まれて

昭和35年卒 戸村 雅子

一昨年、私は『茨木の子への恋文』という本を自費出版した。それが思いがけなく『真壁仁・野の文化賞』を受賞することになって、この1月に、山形国際ホテルで授賞式があった。

実はその時、困ったことがあったのだ……。主催者が用意した授賞式の案内状をだれに差し上げるかの近辺にいらっしやる高校時代の友だちに出席をお願いすることにした。筆不精、付き合い下手の私が、ほとんど交流のない方々へ、恐る恐る案内状を差し上げた。高校時代生徒会長だったザワさんこと、木村洋子さんが中心になって呼び掛けたり、友だちが友だちを誘ってくださったりして、当日は12名も駆けつけてくださった。おまけに嚶鳴同窓会から美しい花籠まで用意して下さっていたのだ。ああ、持つべきは高校時代の友だちである！

代の友だちに出席をお願いすることにした。筆不精、付き合い下手の私が、ほとんど交流のない方々へ、恐る恐る案内状を差し上げた。高校時代生徒会長だったザワさんこと、木村洋子さんが中心になって呼び掛けたり、友だちが友だちを誘ってくださったりして、当日は12名も駆けつけてくださった。おまけに嚶鳴同窓会から美しい花籠まで用意して下さっていたのだ。ああ、持つべきは高校時代の友だちである！



授賞式で同窓会からの花籠を抱いて(戸村さん(左)と木村洋子さん)

いで戻り、編集を間に合わせるような日も。時間と体力、精神力との闘いです。また、表現には正解がないからこそ、同僚や他局の作品に学びながら、鍛錬の繰り返しです。それでも、何物にも代えがたい原動力となっているのは、視聴者の方はもちろん、取材した相手に放送を喜んでもらえる事。県外での経験があるからこそ、改めて、自分の故郷を見つめ、探り、伝える事ができる幸せを噛みしめております。取材を通し、県政界はじめ、教職員や農家、デザイナー、

### 故郷を探り、伝える喜びを感じて

平成15年卒 大木 瞳美

「切磋琢磨」の嚶鳴精神が、日々スピード感をもって臨む報道の現場で、今の私を支えています。

緑あつて故郷山形に戻りYBC山形放送で7年目を迎えました。現在は、夕方の報道番組のニュースキャスターとして奮闘する毎日です。



ニュースキャスターとして活躍する大木さん

番組の放送までには、いくつもの段階があります。特に企画ニュースでは、自ら取材対象のリサーチや取材日の段取り、現場取材や原稿・構成編集作業を経て、ようやく本番で原稿を読み伝えます。早朝から遠方で取材した後、急

CA、県産食材を使用したジェラート店等々、多岐にわたる分野で西高卒の皆様の活躍を目の当たりにし、刺激を受けています。県内のマスコミでも、嚶鳴精神をもった仲間が県内の動向に日々向き合っています。地元の方々の皆さんの喜怒哀楽に心を寄せながら、より多くの方の人柄や生き方を描き、お伝えできるよう、益々精進してまいります。

皆様の身の回りに素敵な情報がございましたら、ぜひお寄せ下さい。心からお待ちしております！

### 山形の女性ももっと輝くお手伝い

昭和57年卒 小和田みどり

山形の女性は辛抱強く働いて実施しています。日南市にき者。共働きの率でも離婚率の低さも全国トップクラスに低さがあります。私が勤務しているライオン株式会社では、2016年より「夫婦円満都市推進プロジェクト」を実施しています。これは、全国の自治体や企業とタッグを組んで進めているプロジェクトです。離婚率の低い山形ですが「夫婦円満の秘訣」、なんだかわかりますか？実は「家事ギャップをなくすこと」なのです。働く女性が増える一方で、妻の家事負担は減少して、家事分担任に対する不公平感、家事をしてもらってもやり方や仕上がりに対する不満など、家事に関する夫婦間の意識や行動の様々なギャップが問題になっていきます。この家事ギャップの少ない夫婦ほど、また次に生まれ変わっても同じ人と結婚したいと答える率が高いという調査結果ができました。そこでお互いに気持ちよく家事ギャップ解消セミナー」



左から3番目が小和田さん



平成29年度 主行事務報告

<平成29年度事業報告>

- 平成29年
4月25日(火) 平成28年度会計監査
5月2日(火) 第1回評議員会
5月11日(木) 嚶鳴三会長副会長会
6月18日(日) 東京支部総会
6月21日(水) 創立119周年記念式典、合唱コンクール
8月7日(月) 第2回評議員会・第1回クラス幹事会
10月29日(日) 同窓会総会
平成30年
2月28日(水) 同窓会入会式、表彰式
3月1日(木) 第64回卒業証書授与式
3月15日(木) 三役会

平成29年度 維持会費納入状況 (平成30年3月31日現在・納入者氏名省略)

Table with columns for fiscal year (e.g., 平成29年度分, 平成28年度分) and student groups (e.g., 昭和34年, 昭和35年). It lists the number of students in each group who have paid their dues.

ご冥福とお祈り申し上げます

- List of names and dates of deceased members, such as 富田(青柳)康子 (昭36西高), 片桐(片桐)秀 (昭10高女), etc.

編集後記

今年、創立120周年、そして、平成最後の同窓会報、編集委員長も田中委員から富樫委員にバトンタッチ、と節目の年となりました。



同窓会報編集委員

- 会報担当校内理事: 福橋郁薫子
会報編集委員(評議員): 井武神田古, 上田保中瀬, 尚靖由裕孝, 里子美子

同窓会報へのお便りお待ちしています

宛先/〒990-2492 山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内 嚶鳴同窓会報編集室
お問い合わせ/TEL 023(641)3504 FAX 023(641)3516
http://yamanishi.webpage21a.jp/



私達の学年会

姫のように凛として美しく 姫五一会

昭和51年卒 松村 昌子

季節の移り変わりに目を止める余裕さえもない日々を送る人生も、あつという間に60年。昭和51年卒「姫五一会」の私達も還暦という大きな節目を迎えました。



昭和51年卒「姫五一会」の「還暦を祝う会」(松村昌子実行委員長長の挨拶)

またアトラクションでは、メゾソプラノの淀和恵さんの美しい歌声と庄子香代子先生のピアノ伴奏に会場が至福の世界に染められ、うっとり。その後は、気持ちちはセーラー服のまま、の賑やかなおしゃべりと思ひ出話に花が咲き、還暦祝いは大いに盛り上がり、笑顔に満ちあふれました。

Information お知らせ



★佐々木悦さん(昭和23年卒)の本、CDを山口由美様(佐々木さんのご息女)から寄贈されました。



★藤(原田)麻美子さん(昭和52年卒)が「毎朝3分の丹田呼吸で体も心も元気になる」(あさ出版)を出版されました。



★戸村雅子さん(昭和35年卒)が「茨木のり子への恋文」を出版されました。



★五十嵐(沼田)佳子さん(昭和50年卒)が「読売屋お吉甘味とおんと帖」と「わすれ落雁」(祥伝社)を出版されました。

嚶鳴同窓会役員

Table listing the names and positions of the alumni association officers, including 中原えい子 (President), 岡崎 信子 (Secretary), and others.



平成29年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部 (単位：円)		2 支出の部 (単位：円)	
1. 前年度繰越金	9,827,379	1. 29年度総会補助	300,000
2. 総会ご芳志	722,000	2. 東京支部総会補助	100,000
3. 総会残金	112,337	3. 酒田支部総会補助	30,000
4. パッチ立替分(29年度分)	80,000	4. 30年度総会補助	300,000
5. 定期預金利息	632	5. 総会経費(写真代・役員会、徽章代、記念品代)	820,138
6. 普通預金利息	18	6. 勤続10年表彰記念品・感謝状額縁	28,998
7. 定期預金解約残金	44	7. 事務補助員給与(7~10月)	21,000
合計	10,742,410	8. 職員室カラーレーザープリンタートナー代	19,300
	(内、定期預金 7,400,000)	9. 事務費(振り込み手数料等)	3,240
3 差引残高	10,742,410円 - 4,349,277円 = 6,393,133円	10. 同窓会表彰関係(賞状・額・副賞)	57,864
	定期預金 4,900,000円	11. 創立120周年記念事業費へ納入(定期解約)	2,500,000
	普通預金 1,493,133円	12. 創立120周年記念事業経費	6,737
		13. 山形新聞広告料(南東北インターハイ特集号)	162,000
		合計	4,349,277

平成29年度 経常費決算

1 収入の部 (単位：円)		2 支出の部 (単位：円)		
項目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
入会費	717,000	717,000	0	3,000円×239人(H28年度卒業生分)
会費	1,317,000	1,317,000	0	717,000円(3,000円×239人:会費20年分)+600,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	557,361	557,361	0	28年度残金
雑収入	39	8	△ 31	預金利子
計	2,591,400	2,591,369	△ 31	
項目	予算額	決算額	予算残額(△)	摘要
総会費	820,000	820,000	0	総会、東京支部・寒河江支部総会補助
会議費	200,000	112,448	87,552	評議員会、クラス幹事会など
後援費	60,000	28,274	31,726	会員後援費
記念品費	80,000	80,000	0	新入会員の記念品(ピンパッチ)代
印刷発行費	350,000	278,640	71,360	会報印刷代、封筒印刷代
事務費	20,000	37,274	△ 17,274	宛名ラベル、ファイル、封筒代など
通信費	170,000	107,636	62,364	葉書代、切手代、郵送料など
慶弔費	120,000	66,337	53,663	弔電代、祝電代
交通費	300,000	254,840	45,160	役員交通費など
諸費	150,000	115,408	34,592	入会式経費、全国大会出場部餞別など
予備費	321,400	0	321,400	
計	2,591,400	1,900,857	690,543	
3 差引残高	(総収入) 2,591,369円 - (総支出) 1,900,857円 = (残高) 690,512円			

平成30年度 経常費予算

1 収入の部 (単位：円)		2 支出の部 (単位：円)		
項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
入会費	684,000	717,000	△ 33,000	3,000円×228人(H29年度卒業生分)
会費	1,284,000	1,317,000	△ 33,000	684,000円(3,000円×228人:会費20年分)+600,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	690,512	557,361	133,151	29年度残金
雑収入	88	39	49	預金利子
計	2,658,600	2,395,300	67,200	
項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
総会費	790,000	820,000	△ 30,000	総会、東京支部総会補助
会議費	200,000	200,000	0	評議員会、クラス幹事会など
後援費	60,000	60,000	0	会員後援費
記念品費	80,000	80,000	0	新入会員の記念品(ピンパッチ)代
印刷発行費	350,000	350,000	0	会報印刷代、封筒印刷代
事務費	40,000	20,000	20,000	宛名ラベル、ファイル、封筒代など
通信費	170,000	170,000	0	葉書代、切手代、郵送料など
慶弔費	120,000	120,000	0	弔電代、祝電代など
交通費	300,000	300,000	0	役員交通費など
諸費	150,000	150,000	0	入会式経費、全国大会出場部餞別など
予備費	368,600	321,400	47,200	
計	2,628,600	2,395,300	37,200	